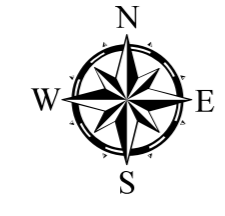


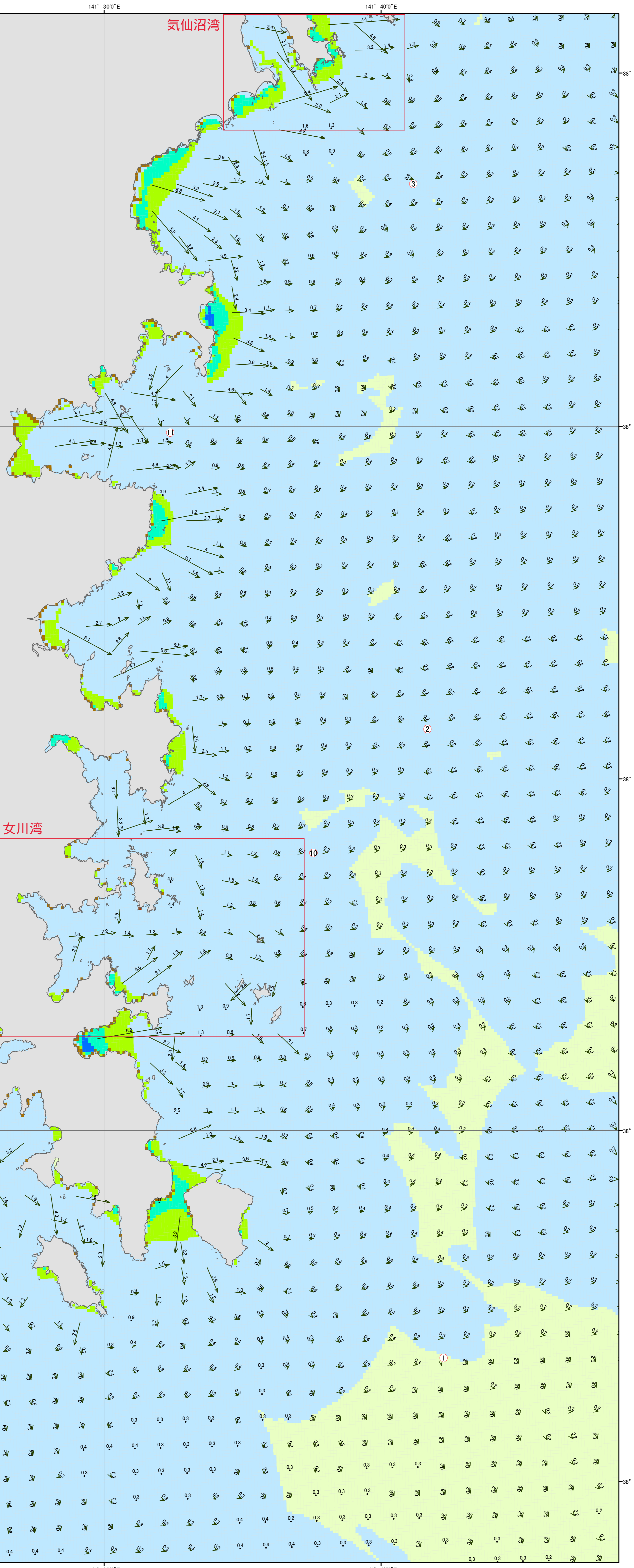
# (宮城県沖地震)

## 宮城県沿岸 広域津波防災情報図 (引潮図)



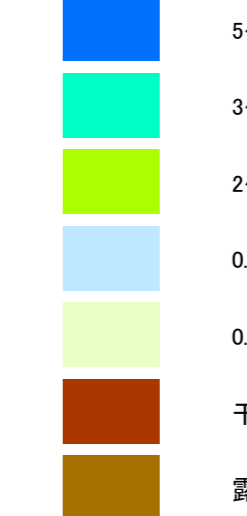
座標系：メルカトル図法  
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件：最低水面 (零位)  
隆起量：平均 -0.07m (-0.14m ~ 0.15m)  
Z<sub>0</sub>：0.92m  
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



### 凡例

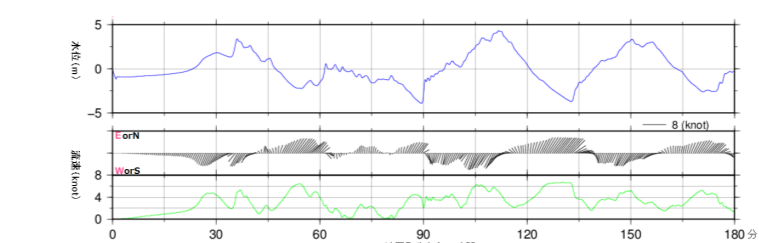
最大水位低下



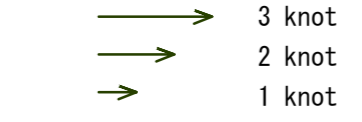
(10) 経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を個別の経時変化図で示す。)

(9) 水位、流向・流速経時変化図

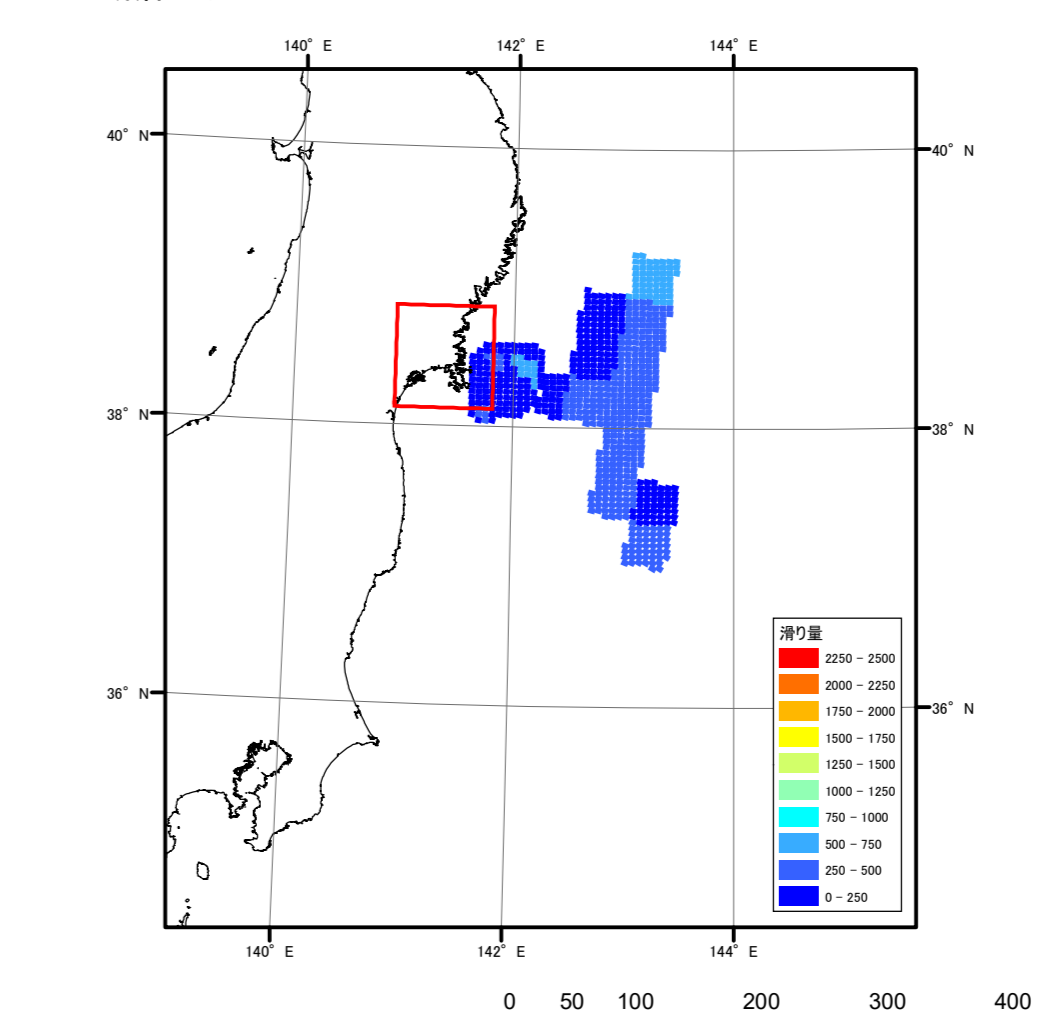


### 引潮時最大流 [knot]



- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

### 断層モデル



宮城県沖地震  
モーメントマグニチュード Mw 8.2

本断層モデルは、中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺型海溝地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
・海上保安庁が保有する水深データ

作成機関：海上保安庁  
防犯情報作成年月：平成29年7月 (初版)  
地図データ作成年月：平成29年1月 (初版)

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。

